



平成27年5月8日

各位

上場会社名 株式会社 安楽亭  
 代表者 代表取締役社長 柳 時機  
 (コード番号 7562)  
 問合せ先責任者 取締役総務人事部長 本多 英明  
 (TEL 048-859-0555)

## 平成27年3月期通期業績予想(連結・個別)の修正及び特別利益並びに特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。また、下記の通り特別利益・特別損失を計上することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,360	820	620	480	22.44
今回修正予想(B)	17,272	571	424	375	17.54
増減額(B-A)	△88	△249	△196	△105	
増減率(%)	△0.5	△30.4	△31.6	△21.9	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	17,481	707	634	342	16.00

平成27年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,000	490	360	16.83
今回修正予想(B)	15,894	326	290	13.58
増減額(B-A)	△106	△164	△70	
増減率(%)	△0.7	△33.5	△19.4	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	16,102	500	225	10.56

修正の理由

修正の理由

(1) 個別業績予想修正の理由

当社の属する外食業界におきましては、個人消費が回復に至らない中、牛肉等をはじめとする原材料費の高騰及び人手不足を背景とした人件費関連コストの上昇もあり、厳しい経営環境が続いております。

当社では継続して様々な合理化を推し進めておりますが、店舗数減少もあり売上高は前期比98.7%となり、前回公表時の予想を下回る見込みであります。

利益面につきましても、上記売上高の減少に加え、全般的なコスト上昇等もあり営業利益、経常利益はそれぞれ前回公表時の予想を下回る見込みとなりました。また、「特別損益の計上について」の通り、特別損失185百万円の計上もあり、当期純利益においても前回公表時の予想を下回る見込みとなりました。

(2) 連結業績予想修正の理由

主に、個別業績予想の修正に伴って修正するものであります。

特別損益の計上について

下記のとおり、特別利益が発生します。

(1) 特別利益(個別・連結)

1. 固定資産売却益 15百万円(第1～第3四半期 15百万円計上済)
  2. 受取保険金 25百万円(第1～第3四半期 3百万円計上済)
  3. 債務免除益 361百万円(第1～第3四半期 361百万円計上済)
- (特別利益計) 402百万円

下記のとおり、特別損失が発生します。

(1) 特別損失(個別)

1. 固定資産売却損 92百万円
  2. 固定資産除却損 5百万円(第1～第3四半期 4百万円計上済)
  3. 減損損失 18百万円
  4. 固定資産圧縮損 16百万円
  5. 転貸損失引当金繰入額 43百万円
  6. 賃貸借契約解約損 8百万円(第1～第3四半期 8百万円計上済)
- (個別特別損失計) 185百万円

(2) 特別損失(連結)

1. 固定資産売却損 94百万円(第1～第3四半期 2百万円計上済)
  2. 固定資産除却損 5百万円(第1～第3四半期 4百万円計上済)
  3. 減損損失 40百万円(第1～第3四半期 21百万円計上済)
  4. 固定資産圧縮損 16百万円
  5. 転貸損失引当金繰入額 43百万円
  6. 賃貸借契約解約損 8百万円(第1～第3四半期 8百万円計上済)
- (連結特別損失計) 209百万円

(注)上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上